

音声広報CD「明日への声」及び
点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」
平成28年度アンケート調査 報告書

2017年1月

内閣府政府広報室

目次

調査実施概要	1
I CD・冊子 利用者調査の結果	2
1 音声広報CD「明日への声」について	3
2 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について	10
3 共通項目	16
II CD・冊子 配布先施設等向け調査の結果	20
1 施設について	21
2 音声広報CD「明日への声」について	23
3 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について	29
4 共通項目	34

調査実施概要

1 調査目的

視覚障害者等向け資料音声広報CD「明日への声」、点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」の利用者等を対象とした調査（利用者調査）及び配布先施設・団体に向けた調査（配布先施設・団体調査）を実施し、音声広報CD、点字・大活字広報誌の利用状況等を把握し、今後の効果的かつ効率的な広報展開に資する情報を得ることを目的とする。

2 調査対象・回答数

(1) 利用対象者向けアンケート

- ・対象：全国の視覚障害者：700人
- ・回答数：201人（回収率28.7%）

※本年度より調査対象を当該広報資料の利用者に限らず、普段から音声・録音図書や点字図書などを利用している方に拡大

(2) 施設・団体向けアンケート

- ・対象：配布先施設・団体：300箇所
- ・回答数：181箇所（回収率60.3%）

3 調査期間

平成28年10月下旬～11月中旬

4 調査方法

郵送によるアンケート調査

5 調査企画管理・実施機関

公益社団法人日本広報協会

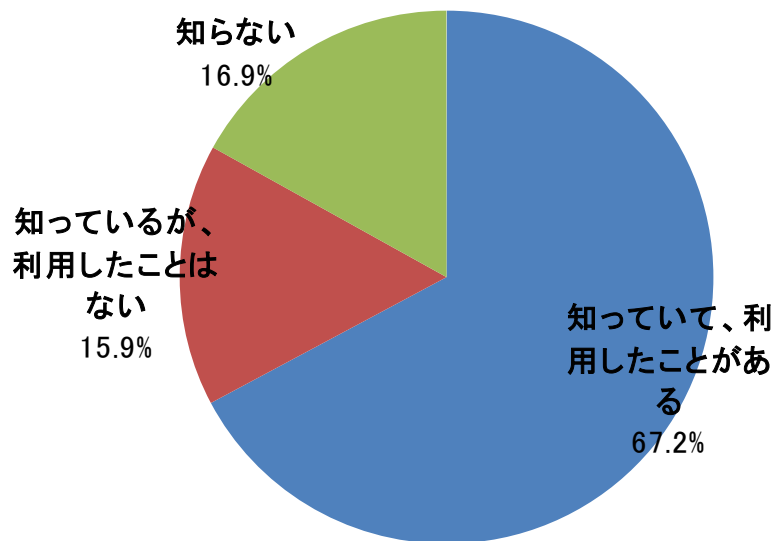
I CD・冊子 利用者調査の結果

1 音声広報CD「明日への声」について

問1 内閣府では、視覚障害者の方や小さな文字が読みにくい方などに向けて、政府のさまざまな情報を分かりやすくまとめた音声広報CD「明日への声」を作成しています。このCDをご存知ですか。当てはまるものを1つお選びください。（SA）

- ◆ 「明日への声」の認知状況をみると「知っていて、利用したことがある」は67.2%、「知っているが、利用したことはない」は15.9%となっており、知っている人は全体の約8割となっている。
- ◆ 「知らない」は16.9%である。

N=195

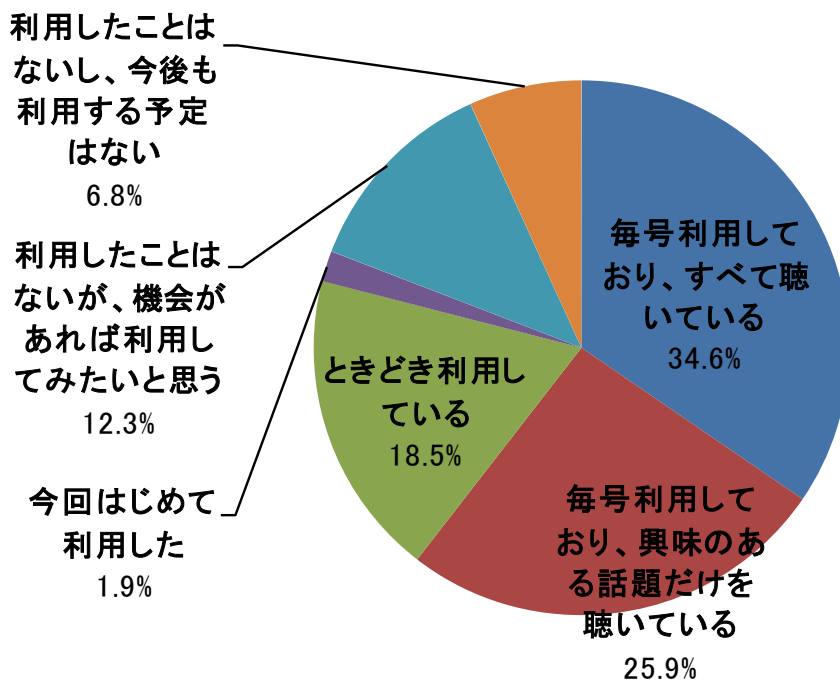


1 音声広報CD「明日への声」について

問2 音声広報CD「明日への声」をどのように利用されていますか。または利用したいと思いますか。当てはまるものを1つお選びください。(SA)

- ◆「明日への声」の利用状況をみると「毎号利用しており、すべて聴いている」は34.6%、「毎号利用しており、興味のある話題だけを聴いている」は25.9%となっており、毎号利用している人は全体の約6割となっている。「ときどき利用している」は18.5%、「今回はじめて利用した」は1.9%で、利用したことがある人の合計は約8割となっている。
- ◆「利用したことはないし、今後も利用する予定はない」は6.8%である。

N=162

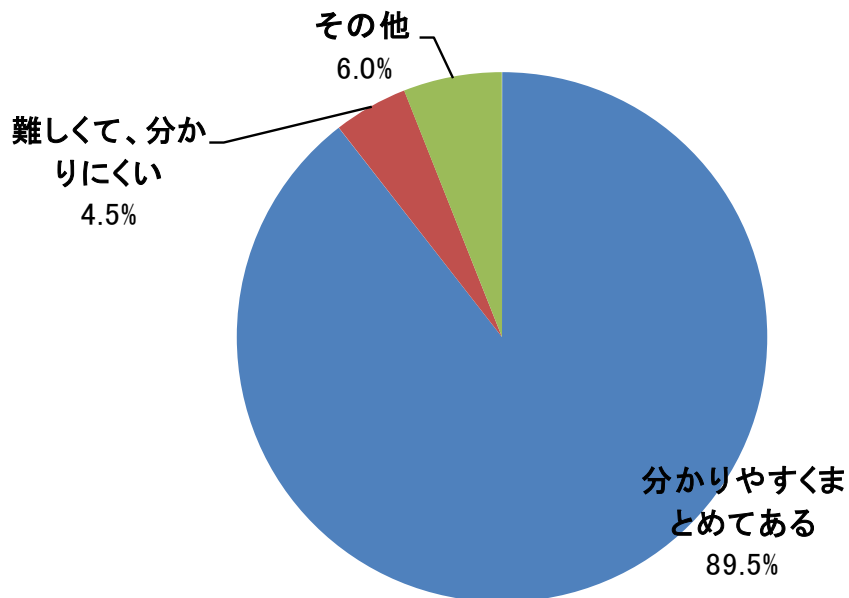


1 音声広報CD「明日への声」について

問3 ご利用いただき、どのような感想を持たれましたか。当てはまるものを1つお選びください。(SA)

- ◆「明日への声」の利用後の感想をみると、「分かりやすくまとめてある」が89.5%となっている。
- ◆「難しくて、分かりにくい」と回答した人は4.5%である。

N=133



その他の回答は、以下の通り。

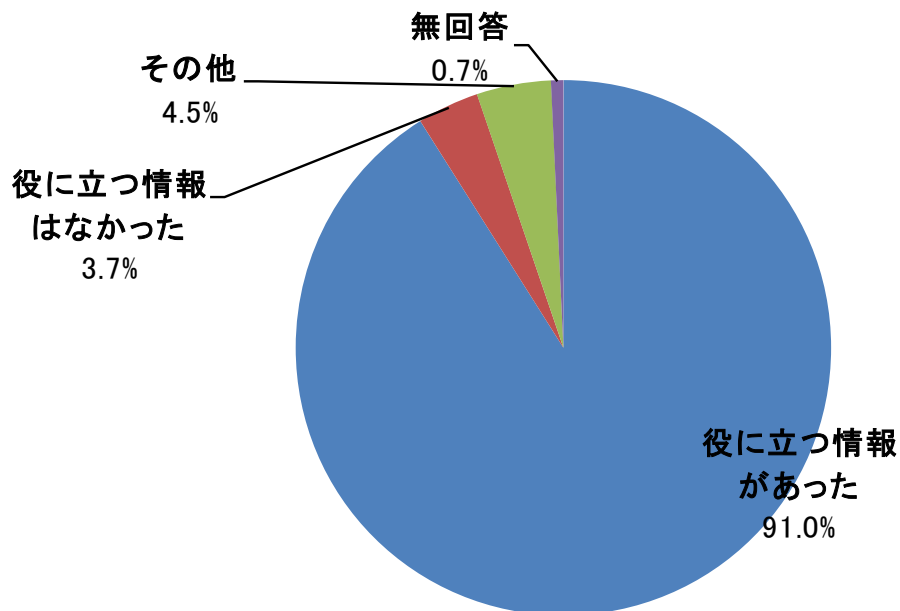
- ・読み方が工夫されていて、楽しく聞いている。
- ・分かりやすいものと、分かりにくいものがある。
- ・自分にとって必要な記事とそうでない記事がある。ほか

1 音声広報CD「明日への声」について

問4 このCDの中に役に立つ情報はありましたか。当てはまるものを1つお選びください。(SA)

- ◆「明日への声」の内容について、「役に立つ情報があった」は91.0%となっている。
- ◆「役に立つ情報はなかった」と回答した人は3.7%である。

N=133



その他の回答は、以下の通り。

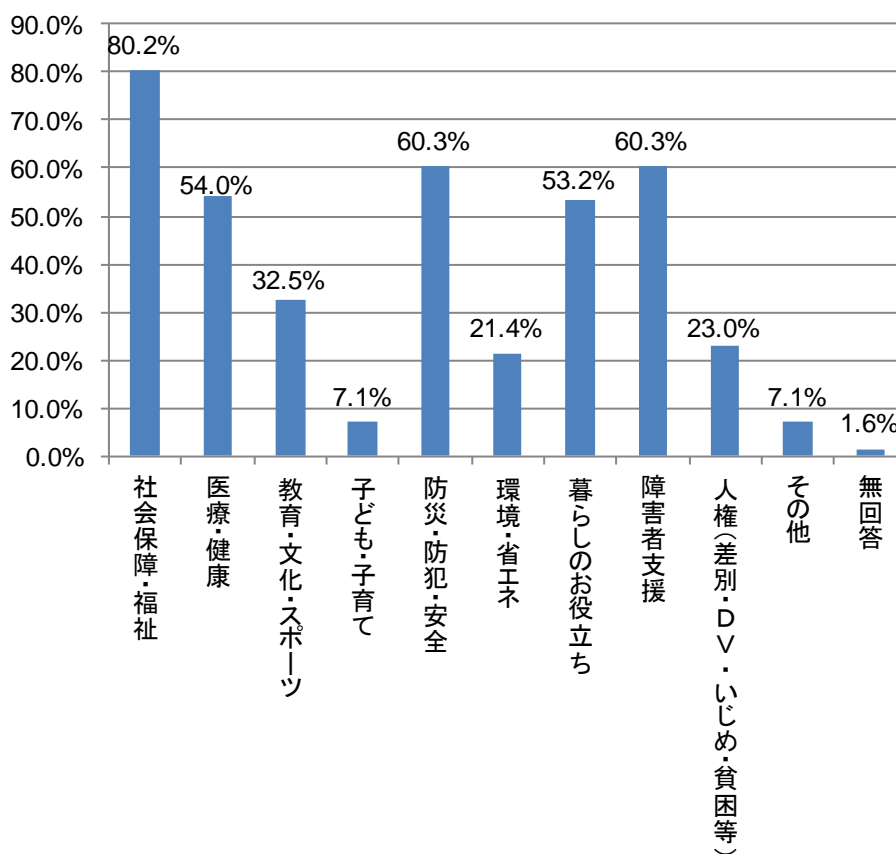
- ・すべて役に立つ。
- ・もう少し生活に密着した分かりやすい文章で。 ほか

1 音声広報CD「明日への声」について

問5 問4で「1 役に立つ情報があった」とお答えいただいた方にお聞きします。具体的に、どのような情報が役に立ちましたか。当てはまるものをすべてお選びください。（MA）

- ◆「明日への声」で役に立った情報は、「社会保障・福祉」が80.2%で最も多い。「防災・防犯・安全」（60.3%）、「障害者支援」（60.3%）、「医療・健康」（54.0%）、「暮らしのお役立ち」（53.2%）と続く。
- ◆「子ども・子育て」は7.1%と低い。

N=126



その他の回答は以下の通り。

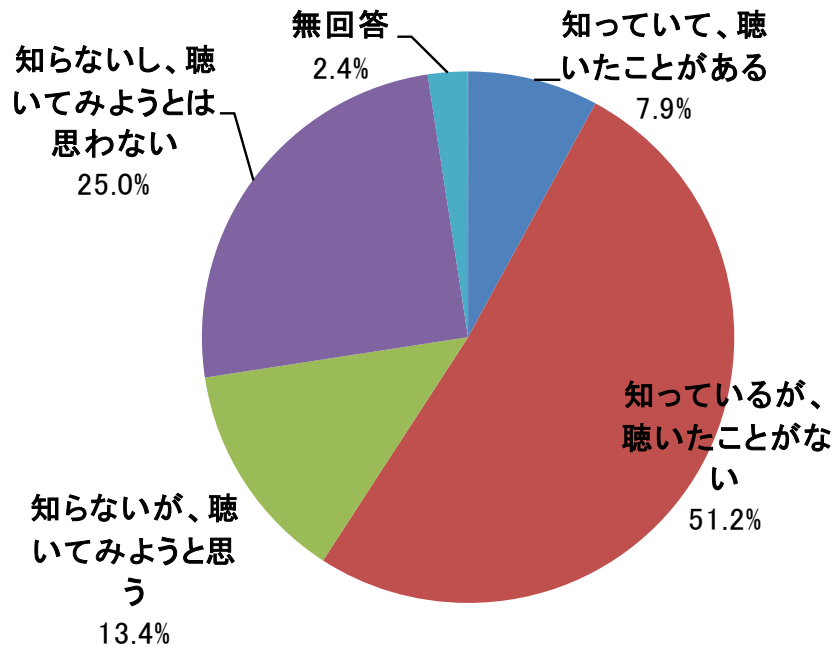
- ・音楽（同様3件）
- ・百人一首、音風景など。
- ・全部がためになっている。
- ・法律が変わった情報。 ほか

1 音声広報CD「明日への声」について

問6 このCDは、政府広報オンライン（インターネット）でも聴くことができますが、ご存知ですか。当てはまるものを1つお選びください。（SA）

- ◆「明日への声」がインターネットでも聴くことができることについては、「知っていて、聴いたことがある」が7.9%。「知っているが聴いたことがない」が51.2%で、「知っている」の合計は全体の約6割となっている。
- ◆「知らないし、聴いてみようとは思わない」と回答した人は、25.0%である。

N=164



1 音声広報CD「明日への声」について

問7 このCDには、政府からの情報のほかにも「小倉百人一首」や「ジャズ音楽」を紹介するコーナーがあります。ご意見、ご感想があればぜひお聞かせください。(FA)

○好評

- ・歴史のことは好き。音楽も大好きで、内容と内容の間に音楽があると気分転換になる。
- ・特にジャズ音楽に興味があり、楽しく聞かせていただいている。
- ・自分の興味の範囲では無い分野に耳を傾ける事ができ、良い内容だと思う。特にジャズのコーナーはこれがきっかけとなり、魅力に気付くことができ、今ではCDを購入するまでになった。
- ・この2つのコーナーはとても気に入っています。長く続けていってほしいです。
- ・コーヒーブレイク的な意味で、あったほうが良いと思う。
- ・小倉百人一首は1つのCDにまとめて聴かせてもらえるとありがたいです。
- ・毎号楽しみに聴いております。特に解説がついているのがいいです。ほか

○不評

- ・無理に入れなくてもいい。
- ・そのコーナーは聞いていません
- ・あまり興味が無いので飛ばしている。用事の無いとき、聞いている。
- ・あまり必要とは思わない ほか

○その他要望

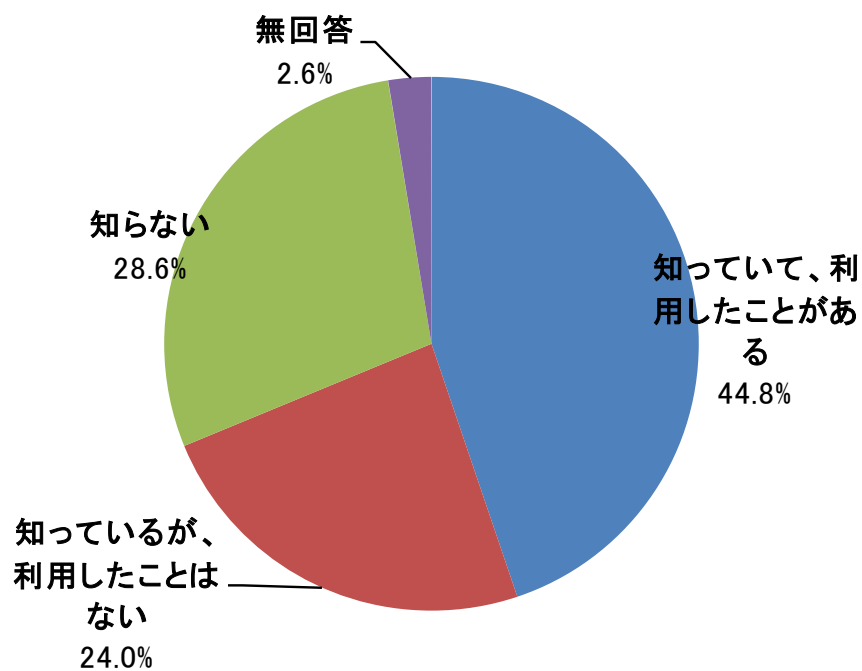
- ・音楽では日本各地の民謡も取り入れてほしい。
- ・お笑いや寄席も聞きたい。
- ・オリンピック・パラリンピックなどの旬の話題も取り上げて欲しい。
- ・童謡・唱歌など、懐かしい曲があれば載せて欲しい。 ほか

2 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問8 内閣府では、音声広報CD「明日への声」のほかに、点字・大活字による広報誌「ふれあいらしんばん」を作成しています。この冊子をご存知ですか。当てはまるものを1つお選びください。(SA)

- ◆「ふれあいらしんばん」の認知状況をみると「知っていて、利用したことがある」は44.8%、「知っているが、利用したことはない」は24.0%となっており、知っている人は全体の約7割となっている。
- ◆「知らない」は28.6%である。

N=192

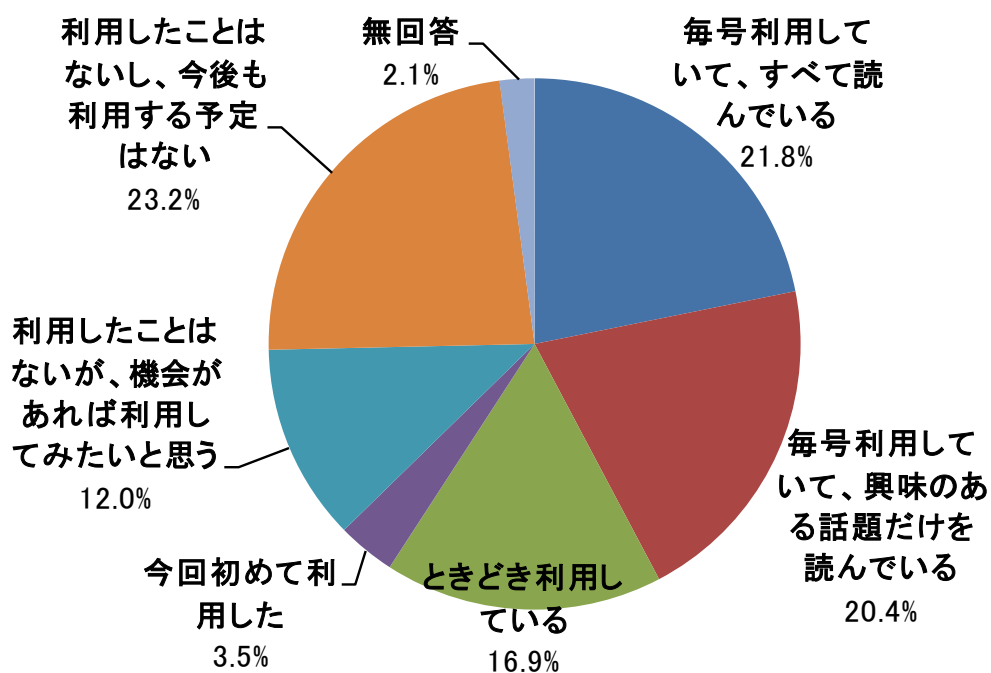


2 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問9 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」をどのように利用されていますか。または利用したいと思いますか。当てはまるものを1つお選びください。(SA)

- ◆ 「ふれあいらしんばん」の利用状況をみると「毎号利用しており、すべて読んでいる」は21.8%、「毎号利用しており、興味のある話題だけを読んでいる」は20.4%となっており、毎号利用している人は全体の約4割となっている。「ときどき利用している」は16.9%、「今回はじめて利用した」は3.5%で、利用したことがある人の合計は約6割となっている。
- ◆ 「利用したことはないし、今後も利用する予定はない」は23.2%である。

N=142

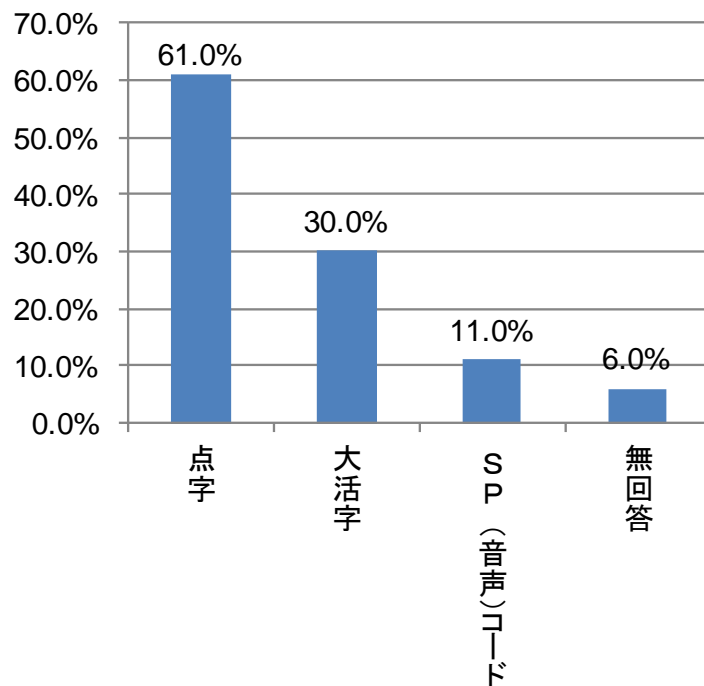


2 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問10 この冊子は、点字と大活字、SP（音声）コードをご利用いただける広報誌ですが、どちらを利用されていますか。当てはまるものをすべてお選びください。（MA）

- ◆ 「ふれあいらしんばん」の点字、大活字、SPコードのそれぞれの利用状況を見ると、「点字」は61.0%と最も多い。大活字は30.0%、SPコードは11.0%である。

N=100

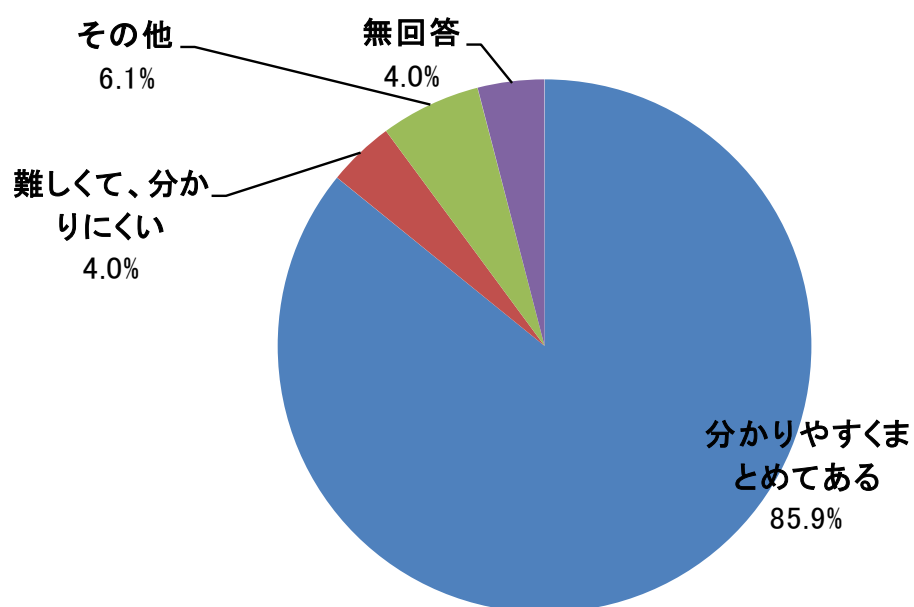


2 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問11 ご利用いただき、どのような感想を持たれましたか。当てはまるものを1つお選びください。(SA)

- ◆「ふれあいらしんばん」の利用後の感想をみると、「分かりやすくまとめている」が85.9%となっている。
- ◆「難しくて、分かりにくい」と回答した人は4.0%である。

N=100



その他の回答は、以下の通り。

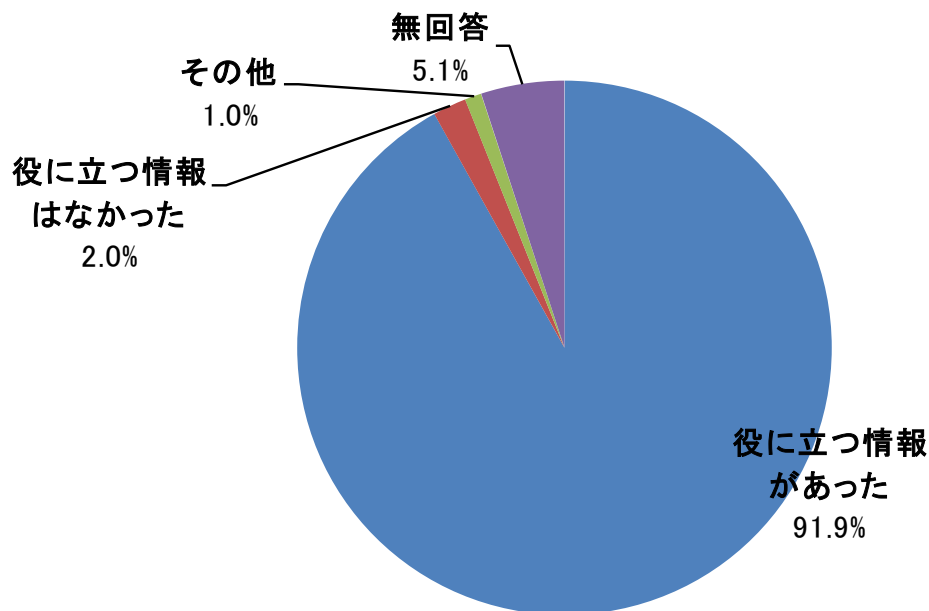
- ・量が多くて読むのが大変です。
- ・点字・活字は別々がいいと思う。 ほか

2 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問12 この冊子の中に役に立つ情報はありましたか。当てはまるものを1つお選びください。(SA)

- ◆「ふれあいらしんばん」の内容について、「役に立つ情報があった」は91.9%となっている。
- ◆「役に立つ情報はなかった」と回答した人は2.0%である。

N=100



その他の回答は、以下の通り。

- ・点字では読み切れない。

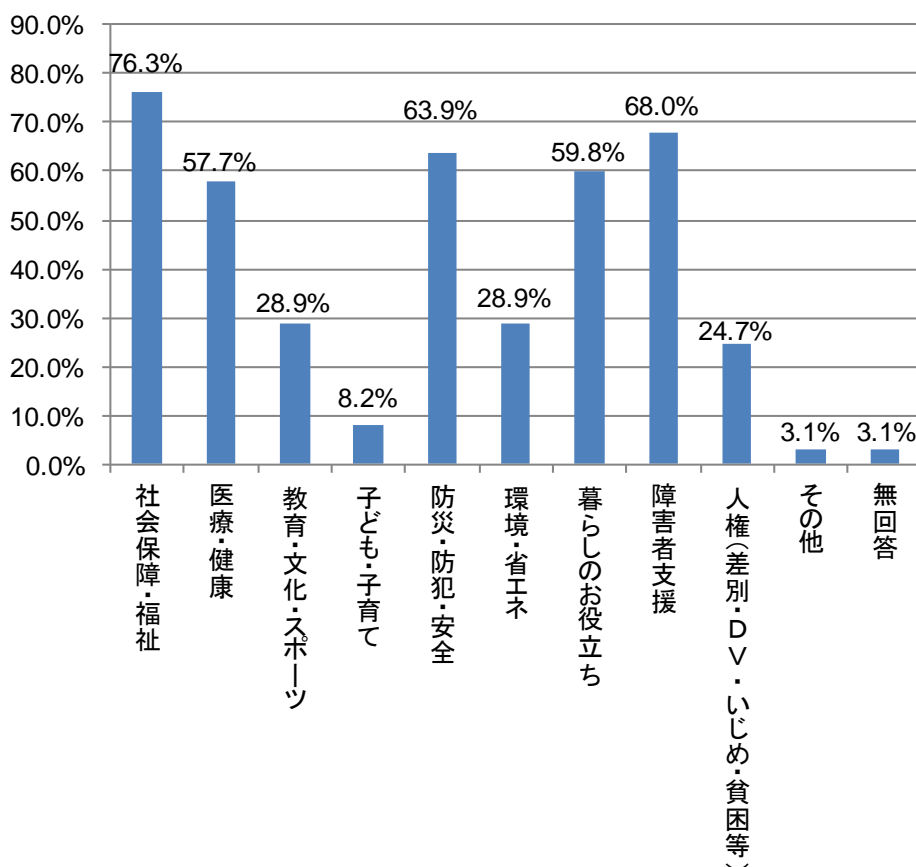
2 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問13 問12で「1 役に立つ情報があった」とお答えいただいた方にお聞きします。

具体的に、どのような情報が役に立ちましたか。当てはまるものをすべてお選びください。(MA)

- ◆「ふれあいらしんばん」で役に立った情報は、「社会保障・福祉」が76.3%で最も多い。「障害者支援」(68.0%)、「防災・防犯・安全」(63.9%)、「暮らしのお役立ち」(59.8%)、「医療・健康」(57.7%)と続く。
- ◆「子ども・子育て」は8.2%と少ない。

N=97



その他の回答は、以下の通り。

- ・全部がためになっています。
- ・すべて役に立った。暮らしのマナーコーナーを作してほしい。 ほか

3 共通項目

問 14 「音声広報CD」または「点字・大活字広報誌」について、ご意見やご要望があれば、ぜひお聞かせください。（FA）

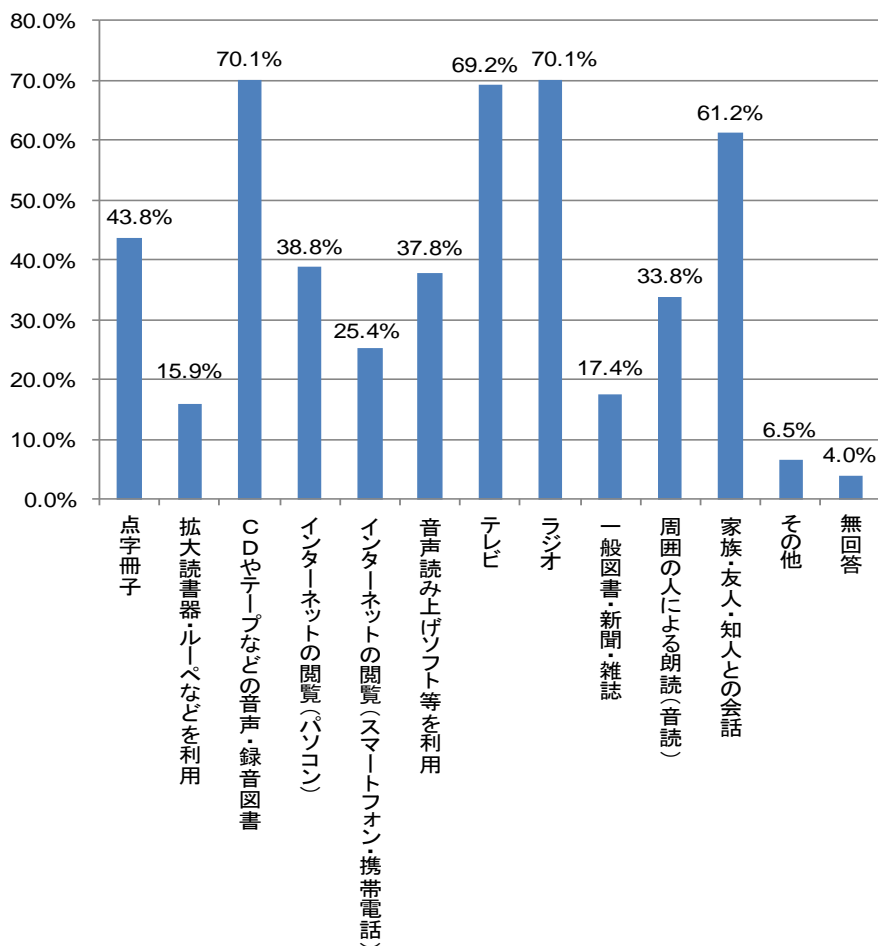
- ・内容は多すぎず少なすぎずちょうどよい量だと思う。
- ・非常に役に立っています。このような会報が、広く周知されることを希望する。
- ・今後もより分かりやすく、濃い内容のものを送っていただきたい。
- ・色々なことが分かりやすくて非常にいいです。喜んで聞いています。
- ・点字と大活字を別々にしてほしい。（同様3件）
- ・点字版はもう少し多くの記事を掲載してほしい。（同様2件）
- ・社会保障、福祉制度など、変更があった場合、すみやかに分かりやすく掲載してほしい。
- ・色々な地方の視覚障害者のための行事を知らせてほしい。
- ・困りごとなどの解決方法や体験した方の声を入れてほしい。
- ・もっと障害者のことを理解してもらえるような記事を載せてほしい。

ほか

問 15 普段、どのような方法で情報を入力されていますか。当てはまるものをすべてお選びください。(MA)

- ◆情報入手経路をみると、「CDやテープなどの音声・録音図書」「ラジオ」がそれぞれ70.1%で最も多い。「テレビ」(69.2%)、「家族・友人・知人との会話」(61.2%)と続く。
- ◆「一般図書・新聞・雑誌」(17.4%)、「拡大読書器・ルーペなどを利用」(15.9%)は少ない。

N=201



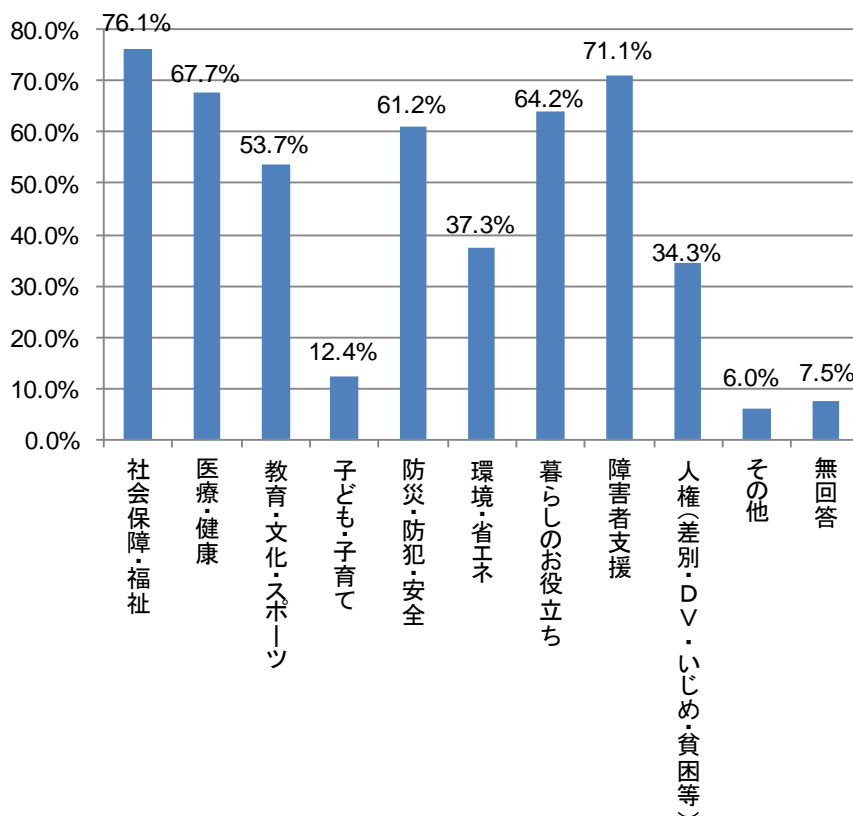
その他の回答は、以下の通り。

- ・役所などからの送付物
- ・デイジー ほか

問 16 問 15 でお選びいただいた方法により、どのような情報入手したいと思われるか。当てはまるものをすべてお選びください。（MA）

- ◆ 入手したい情報をみると、「社会保障・福祉」が 76.1% で最も多い。「障害者支援」(71.1%)、「医療・健康」(67.7%)、「暮らしのお役立ち」(64.2%)、「防災・防犯・安全」(61.2%)、「教育・文化・スポーツ」(53.7%) と続く。
- ◆ 「子ども・子育て」は 12.4% と少ない。

N=201



その他の回答は、以下の通り。

- ・料理のレシピ
- ・日々のニュース
- ・新商品（家電・食品など）
- ・娯楽、趣味、レジャー、旅行
- ・身近に行く事ができる公園や、古跡観光地などの詳細情報を入手したい。

ほか

(参考) 対象者属性

(1) 性別

全体	男性	女性	無回答
201人	124人(61.7%)	66人(32.8%)	11人(5.5%)

(2) 年代

全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答
201人	1人	2人	11人	26人	34人	65人	45人	7人	10人

(3) 視力の状態

全体	全盲	弱視	その他	無回答
201人	129人	64人	6人	2人

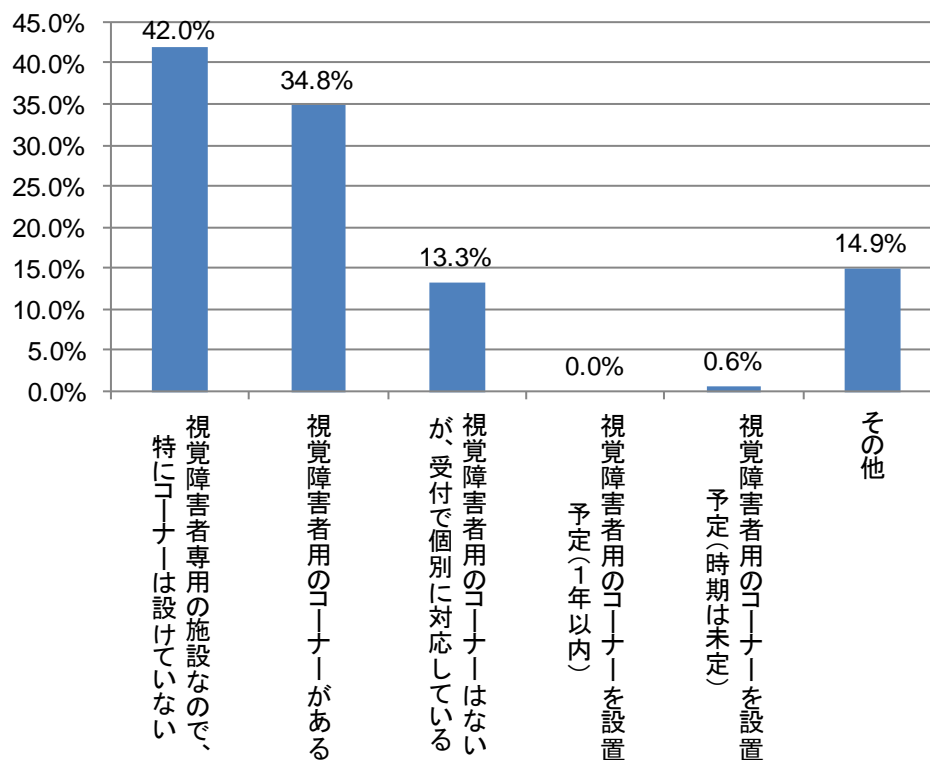
Ⅱ CD・冊子 配布先施設等向け調査の結果

1 施設について

問1 障害者差別解消法が平成28年4月に施行され、合理的配慮が求められています。貴施設では、視覚障害者向けに音声CDや点字図書、大活字図書などを取りまとめたコーナーを設けていらっしゃいますか。当てはまるものをすべてお選びください。(MA)

◆視覚障害者向けコーナーの有無は、「視覚障害者専用の施設なので、特にコーナーは設けていない」が42.0%で最も多い。「視覚障害者用のコーナーがある」(34.8%)と続く。

N=181



その他の回答は以下の通り。

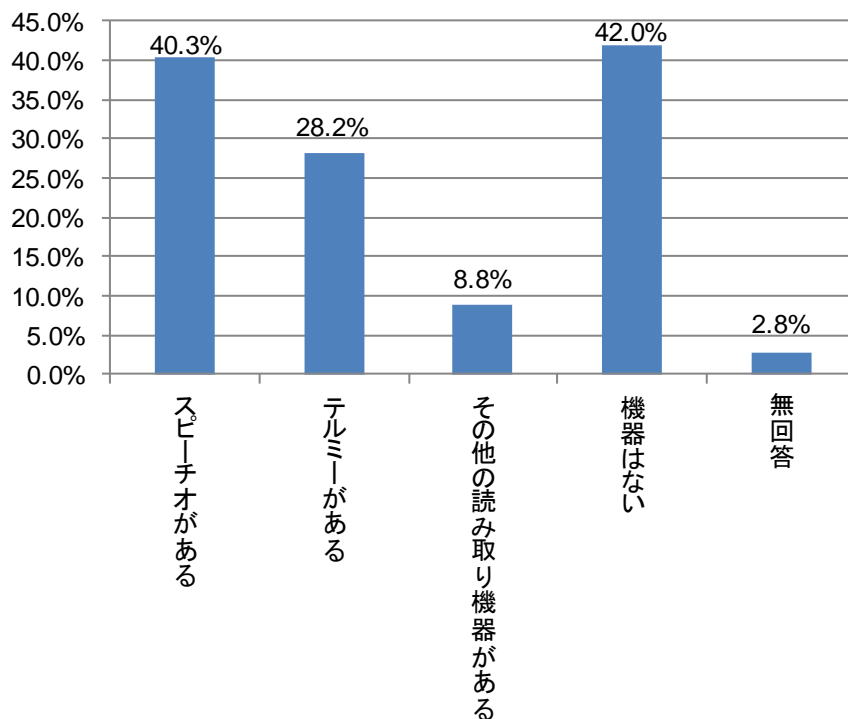
- ・大活字図書のコーナーがある。
- ・障害者に限定はしていないが、音声CD・大活字図書を別置している
- ・視覚障害者用コーナーという形ではないが、大活字図書コーナー・音声CDコーナー等、資料ごとにコーナーを設けている。
- ・録音図書(カセット、デージー)は対面朗読室に設置。
- ・点字冊子・広報などの書架と閲覧席がある。
- ・コーナーは設置していないが、視覚障害の方が使用できる部屋を設置している。大活字図書については一般開架に書架を設けている。ほか

1 施設について

問2 貴施設にSP（音声）コードを読む機器はありますか。当てはまるものをすべてお選びください。（MA）

- ◆ SP（音声）コードを読む機器の有無は、「機器はない」が42.0%で最も多い。
- ◆ 「スピーチオがある」は42.3%、「テルミーがある」が28.2%と、施設ではスピーチオのほうが多い。

N=181



その他の読み取り機器の回答は以下の通り。

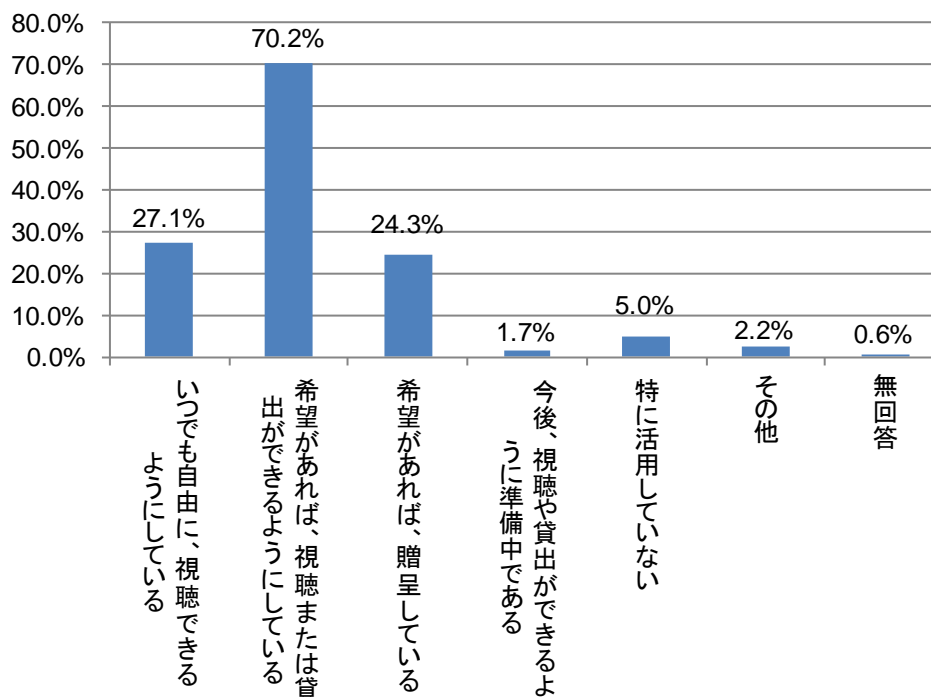
- ・よむべえ（同様9件）
※SPコードを読み取る機器ではなく、音声拡大読書機である。
- ・らいふリミテッド
※スピーチオと同じ製品で販売名称が違う物。
- ・音声コード対応携帯電話セット ほか

2 音声広報CD「明日への声」について

問3 音声広報CD「明日への声」は、視覚障害者の方や小さな文字が読みにくい方などに向けて、政府のさまざまな情報を音声でお届けしています。このCDの活用方法について、当てはまるものをすべてお選びください。（M A）

- ◆「明日への声」の活用方法は、「希望があれば、視聴または貸出ができるようにしている」が70.2%で最も多い。
- ◆「いつでも自由に、視聴できるようにしている」は27.1%、「希望があれば、贈呈している」は24.3%。
- ◆「特に活用していない」は5.0%。

N=181



その他の回答は以下の通り。

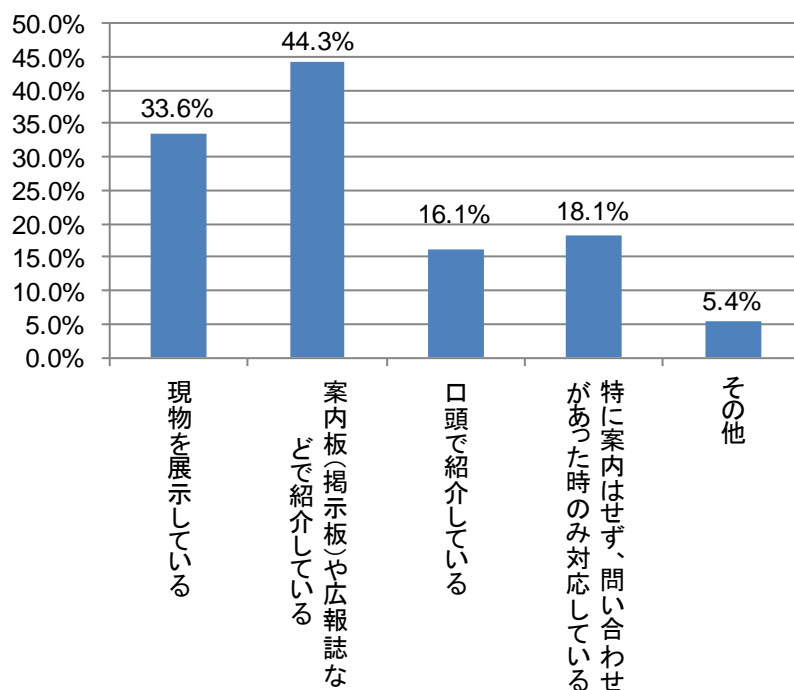
- ・ボランティア団体をお願いしている。
- ・一部で回覧し、図書館で保管している。
- ・全盲の人に紹介している。
- ・現在活用はしていないが今後の活用は検討中である。

2 音声広報CD「明日への声」について

問4 問3で「1 いつでも自由に、視聴できるようにしている」または「2 希望があれば、視聴または貸出ができるようにしている」とお答えいただいた方にお聞きします。具体的に、どのような案内をされていますか。当てはまるものをすべてお選びください。(MA)

◆「明日への声」の案内方法は、「案内板(掲示板)や広報誌などで紹介している」が44.3%で最も多い。「現物を展示している」(33.6%)と続く。

N=149



その他の回答は以下の通り。

- ・ホームページで紹介している。
- ・届いた時に放送でお知らせしている。
- ・当館発行の点字雑誌・録音雑誌および毎年発行の図書目録で紹介している。
- ・蔵書検索で利用者自身で検索可能。
- ・貸出可能な音声資料の目録「声の目録」内で紹介している。 ほか

2 音声広報CD「明日への声」について

問5 問4で「4 特に案内はせず、問い合わせがあった時のみ対応している」とお答えいただいた方にお聞きします。その理由をお聞かせください。(FA)

- ・他の資料と同様に扱っているため。場所的に特設コーナーを設けるのは難しい。
 - ・当館でのサービスとして特に活用について検討してきた経緯もなく、サポートできる環境も整っていないため。
 - ・設置スペース不足のため。
 - ・視覚障害者の利用者(該当者)に関して当館では対面朗読・デイジーのサービスを行っており、他の方の利用はほとんどないため
 - ・障害者サービスもまだまだです。朗読CDも所蔵しておらず購入予定なので広報CDも貸出できるよう準備していきたいと思います。
 - ・音声広報CD「明日への声」にのみ特化したPRはしていないが、障害者サービス全般についての案内を行っている。
 - ・利用者からの問い合わせが特に無いため。
 - ・本市には点字図書館があり、視覚障害者へのサービスはそちらが主力となるため。
- ほか

問6 問3で「5 特に活用していない」とお答えいただいた方にお聞きします。その理由をお聞かせください。(FA)

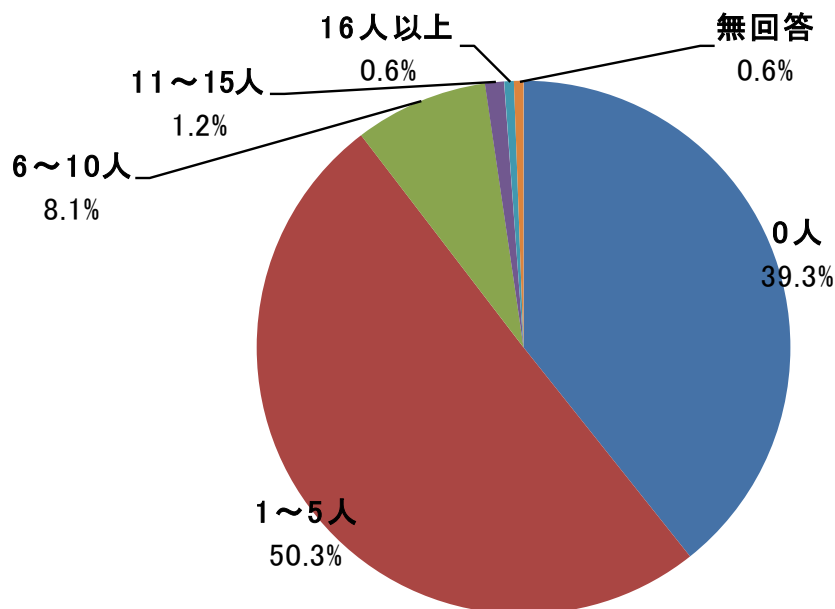
- ・あまり利用が見込めない。
 - ・利用したいという希望が寄せられていない。
 - ・今年度になってから送付されるようになったばかりで、館内に再生できる機器もないため、活用方法などについては今後、検討を要する。
- ほか

2 音声広報CD「明日への声」について

問7 1か月の間に音声広報CD「明日への声」を利用された方はおよそ何人ですか。当てはまるものを1つお選びください。(SA)

- ◆1か月間での「明日への声」の利用者は、「1～5人」が50.3%と最も多い。「0人」(39.3%)と続く。

N=173



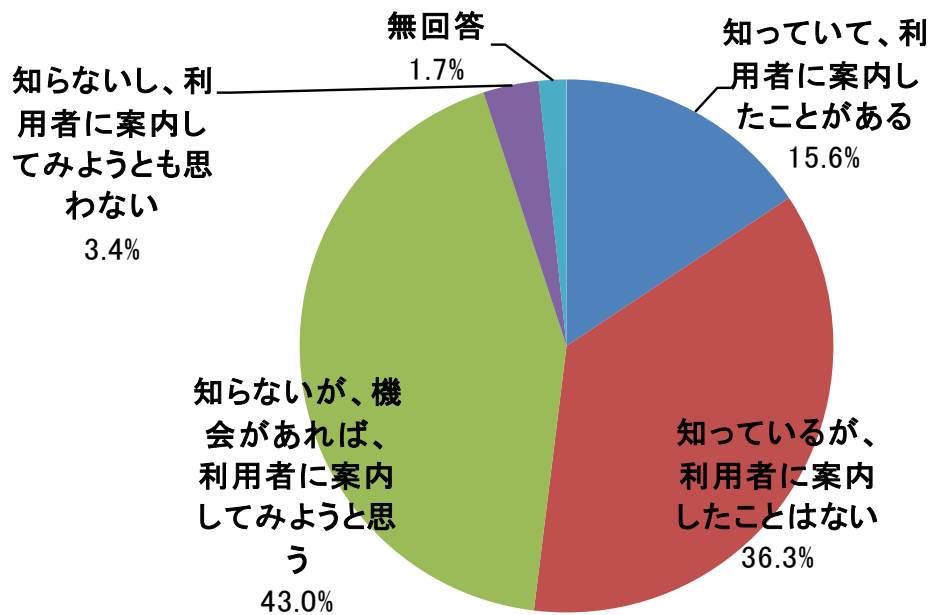
	28年度	27年度
0人	39.3%	36.7%
1～5人	50.3%	53.2%
6～10人	8.1%	5.8%
11～15人	1.2%	1.4%
16人以上	0.6%	2.9%
無回答	0.6%	—

2 音声広報CD「明日への声」について

問8 このCDは、政府広報オンライン（インターネット）でも聴くことができますが、ご存知ですか。当てはまるものを1つお選びください。（SA）

- ◆「明日への声」が政府広報オンラインでも聴くことができることについて、「知らないが、機会があれば、利用者に案内してみようと思う」が43.0%で最も多い。「知っているが、利用者に案内したことはない」（36.3%）と続く。
- ◆知っている人の合計は、約5割となっている。
- ◆「知らないし、利用者に案内してみようとも思わない」は3.4%。

N=179



2 音声広報CD「明日への声」について

問9 このCDに関するご意見やご感想をお聞かせください。利用者から寄せられたご意見等があった場合は、あわせてご記入ください。(FA)

- ・内容はわかりやすいので良いと感じます。
- ・生活に関するだけでなく、ジャズのコーナーがあるなどバラエティに富んだ内容なので、もっと積極的に利用者におすすめしたいと思っています。
- ・オープニングの曲が長く感じるので少し短くしてほしいです。(タイトル・号数の確認作業時に少し時間がかかるので)
- ・手話の勉強をしている利用者が「CDの内容に盛り込まれた時事問題を教材として使用しました」という事例がありました。
- ・利用している方からは、「内容は満足・声も長さも良い」と話を聞いています。
- ・とても良い内容なので、知り合いにおすすめしたいとおっしゃる利用者がいらっしゃいました。おすすめされた方にもCD貸し出しを始めました。
- ・毎回、利用者の方が楽しみにされています。
- ・ホームページ上で視聴が可能なので便利であるとのことのご意見をいただいたことがある。
- ・暮らしに関するサービス(日常生活用具やガイドヘルパー等)の情報があれば嬉しいという話がありました。
- ・CDの内容をテキストデータとして別途配布していただけると、それをPCで読み込んで、弱視者の方が、字を大きくして読めるので、何か、そういったことはできないか。弱視者の方から、そういった意見を聞いたことはある。
- ・デージー形式にして、できるだけ多くの情報を提供していただければと思います。
- ・視覚障害者の方へのサービスとしては、デージー版のほうが利用しやすいのではないかと考えます。
- ・内容が難しいという声があった。
- ・パッケージに再生時間を記入していただけないでしょうか。

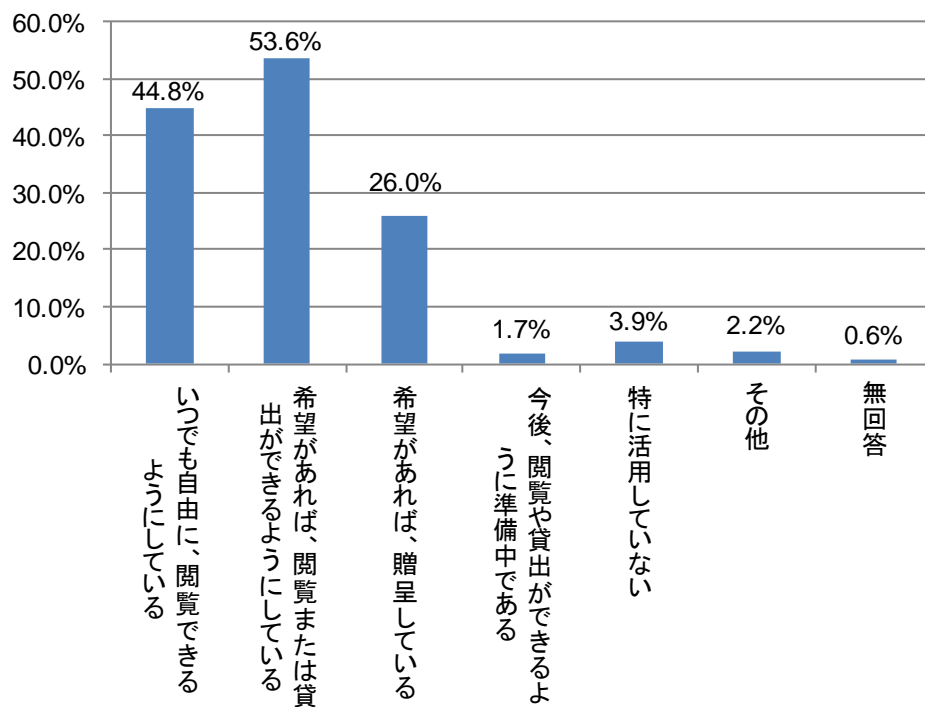
ほか

3 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問10 音声広報CD「明日への声」と同時に、点字・大活字、及びSP（音声）コードによる広報誌「ふれあいらしんばん」を発行していますが、この冊子の活用方法について、当てはまるものをすべてお選びください。（MA）

- ◆「ふれあいらしんばん」の活用方法は、「希望があれば、閲覧または貸出ができるようにしている」が53.6%と最も多い。「いつでも自由に、閲覧できるようにしている」（44.8%）「希望があれば、贈呈している」（26.0%）と続く。
- ◆「特に活用していない」は3.9%。

N=181



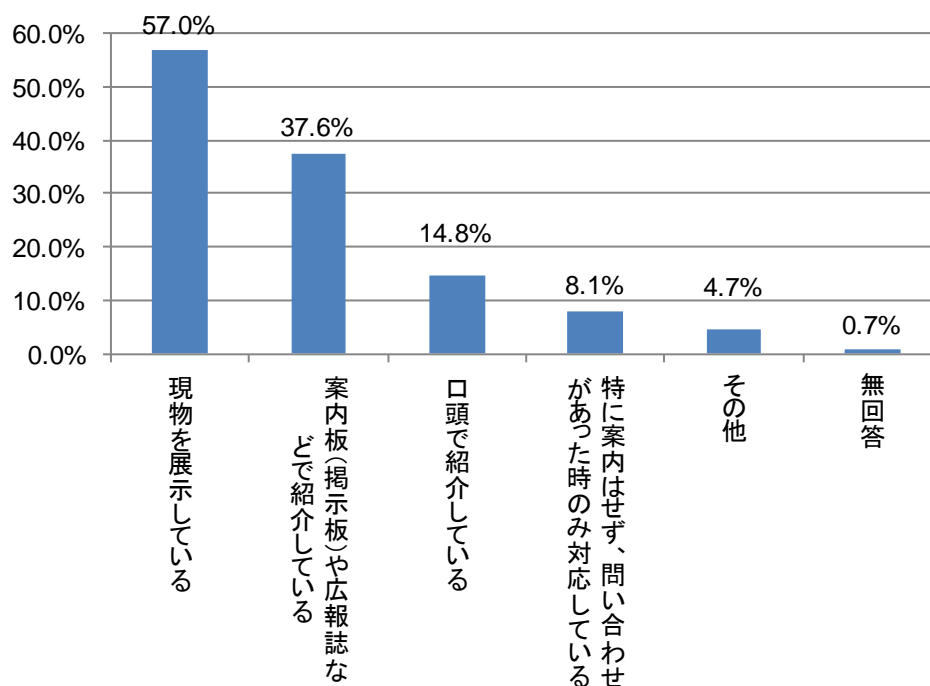
- ・所定の場所に配架し、手にとって見られるようにしている。
- ・一部で回覧し図書館で保管している。 ほか

3 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問11 問10で「1 いつでも自由に、閲覧できるようにしている」または「2 希望があれば、閲覧または貸出ができるようにしている」とお答えいただいた方にお聞きします。具体的に、どのような案内をされていますか。当てはまるものをすべてお選びください。(MA)

◆「ふれあいらしんばん」の案内方法は、「現物を展示している」が57.0%で最も多い。「案内板(掲示板)や広報誌などで紹介している」(37.6%)と続く。

N=149



その他の回答は以下の通り。

- ・当館発行の点字雑誌・録音雑誌および毎年発行の図書目録で紹介している。
 - ・点字本と同じ書架にファイリングしていつでも閲覧できるようにしている。
- ほか

3 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問12 問11で「4 特に案内はせず、問い合わせがあった時のみ対応している」とお答えいただいた方にお聞きします。その理由をお聞かせください。
(FA)

- ・他の広報誌も同様の扱いをしているため。
- ・点字版「ふれあいらしんばん」については、開架スペースの一部に自由に閲覧できるよう、他の官公庁の点字広報紙とともに配架しているため、あえて展示といった形は取っていない。よって、来館者の希望にあわせ、臨機応変に対応している。具体的には、カウンター等で問い合わせがあった場合に来館者の希望を聞き取り、その場までお持ちする、配架場所までご案内するなどの対応となっている。
- ・逐次刊行物の1タイトルとして対応。当該資料は閉架書庫に保存しているため、閲覧の希望があれば書庫より出納し提供している。
- ・すべての資料と同様にとりあつかっているため、特設展示コーナーなど場所的にも難しい。
- ・他の寄贈資料と同様、検索できるように書誌情報を登録後、保管している。一覧リストは館内で配布を準備中。(ほか現状改善のため館内での取組について協議中)
- ・設置スペース不足のため。
- ・官公庁刊行物については特に読書案内を実施していないため。

ほか

問13 問10で「5 特に活用していない」とお答えいただいた方にお聞きします。その理由をお聞かせください。(FA)

- ・特に需要が見込めないため。
- ・今年度になってから送付されるようになったばかりのため、当館での利用・活用方法など今後、検討を要する。

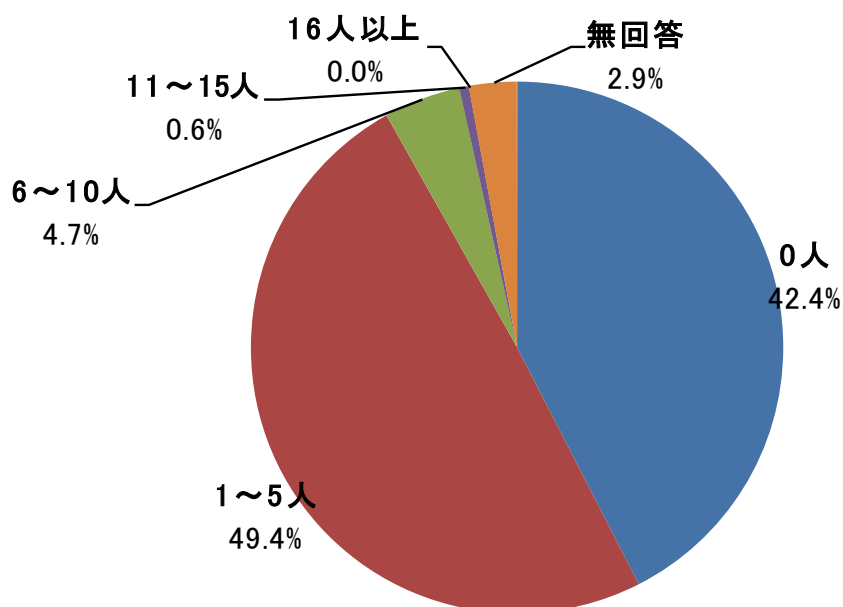
ほか

3 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問 14 1か月の間に点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」を利用された方はおよそ何人ですか。当てはまるものを1つお選びください。(FA)

◆1か月間での「ふれあいらしんばん」の利用者は、「1～5人」が49.4%と最も多い。「0人」(42.4%)と続く。

N=173



	28年度	27年度
0人	42.4%	45.5%
1～5人	49.4%	47.0%
6～10人	4.7%	2.3%
11～15人	0.6%	3.8%
16人以上	0.0%	1.5%
無回答	2.9%	—

3 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」について

問 15 この冊子に関するご意見やご要望をぜひお聞かせください。利用者から寄せられたご意見等があった場合は、あわせてご記入ください。（F A）

- できるだけ多くの情報を提供していただければと思います。
 - 社会保障・福祉に関する情報がたいへん参考になります。
 - ご寄贈いただきありがとうございます。大活字（点字もついています）なので一般書架（自由に手に取れる所）に置いてみようと思っています。
 - 行政の相談窓口の案内など、ためになる情報があり興味を持ちました。内容に関しては、もっと障害者・福祉方面の内容に力を入れて貰えたらとも思いました。
 - 活字が大きいので助かります。
 - 色々な情報が入手できて大変役に立っていると好評です。
-
- 弱視者にとっては、点字のでこぼこが大活字を読む妨げになって、読みにくいようだ。大活字冊子は点字とは別にしてほしいという意見がある。
 - S Pコード利用者は少ないと思われます。気軽に読める内容なので、部数を増やしていただければセンター全体に配架します。
-
- 開架スペースに自由に閲覧できるように配架しているため、正確な利用者数は不明ですが、おそらく僅少かと思われます。

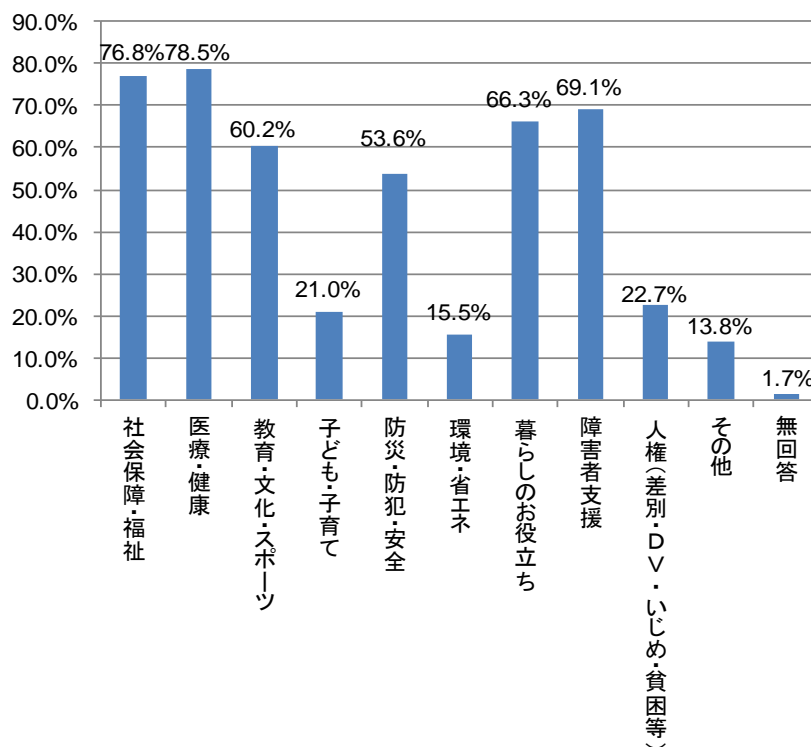
ほか

4 共通項目

問 16 視覚に障害をお持ちの方や小さな文字が読みにくい方は、普段、どのような情報を求めているらっしゃるとお感じになりますか。当てはまるものをすべてお選びください。（F A）

- ◆視覚に障害をお持ちの方や小さな文字が読みにくい方の情報ニーズは、「医療・健康」が78.5%と最も多い。「社会保障・福祉」（76.8%）、「障害者支援」（69.1%）、「暮らしのお役立ち」（66.3%）、「教育・文化・スポーツ」（60.2%）、「防災・防犯・安全」（53.6%）と続く。
- ◆「環境・省エネ」（15.5%）、「子ども・子育て」（21.0%）、「人権（差別・DV・いじめ・貧困等）」（22.7%）は低い。

N=181



その他の回答は以下の通り。

- ・歴史・文学
- ・料理・美容・宗教・科学・歴史・投資など
- ・小説など文学
- ・視覚障害者の職業問題
- ・趣味・娯楽 ほか

問17 音声広報CD及び、点字・大活字広報誌の利用促進について、苦勞されていることや工夫されていることがありましたら、ぜひ教えてください。
(FA)

- ・利用者の方に配布しているお便りに掲載しています。【障害者福祉協会】
- ・利用者に興味を持ってもらうため主な収録内容を明記して毎月広報紙に掲載しているものの、利用者からの貸出希望の反応が無い。【障害者福祉協会】
- ・図書の出借希望があった際に、本広報紙の内容などを興味のある方に紹介している。【点字図書室】
- ・登録者の拡大に苦勞しています。障害者団体の組織率も低下しています。また、福祉行政部局の協力も個人情報関係で得にくくなっています。登録者の組織率は障害者手帳交付者の1割弱です。工夫としては眼科医療機関へのポスター掲示等です。【図書館】
- ・手に取りやすいよう入口近くに配架している。場所を固定し、探さなくても次号がどこにあるか、すぐ分かるようにしている。【盲学校】
- ・職員に活用するノウハウがない。外部組織や国の事例を参考にしたり、今年度は職員の派遣研修を行っている。【図書館】
- ・高齢の会員が多く、カセットテープを希望しているが対応できない。【日本盲人連合会課名団体】
- ・不定期ではあるが当センターの定期刊行物の中で紹介している。認知していても利用に結びつかない場合が多い。利用者からの問い合わせ内容に合致した情報が収録されている場合は、その都度貸出しているが、定期利用にはあまりつながらない。【全視情協加盟施設】
- ・県内の各市町立図書館で蔵書のないところにまとめて貸し出し。PRしたことがある。【図書館】

ほか